

学園テーマ「東海医療学園のブランド力を高めよう」

重点目標

- I. 魅力ある学校づくりの推進する（教育力向上、学生指導、卒後教育、職業教育、教育環境整備、学生生活支援）
- II. 地域に愛される学園を目指す（施術所経営、地域スポーツ、介護予防）
- III. 学園の運営基盤を強化する（学校管理運営）

評価 A：たいへんよい B：まあまあよい C：あまりよくない D：全然よくない

領域	具体的な取り組み	評価の指標	評価	成果と課題	次年度の取り組み	学校関係者評価	
教 育	教育理念・教育方針の周知	教育理念・方針について教職員が理解し、また学生に周知されているか	A	教職員には、年度初めの全体会議および教育マニュアルにて周知、学生には学生便覧、シラバス等により周知した。	引き続き教職員には年度初めの全体会議にて、学生にはオリエンテーション等において周知するよう努める。さらに、教室および実習室に掲示をする。	A	教育の根本ですので学生への周知をお願いします。教育理念・建学の精神等の校内掲示については大変有効であると考えます。
	教育目標の設定	学習者や社会のニーズに応じた教育目標が設定されているか	A	養成施設認定規則及び同指導要領、教育ガイドライン等に基づき教育目標を検討、その到達度から概ね妥当な教育目標が設定されているものとする。	教育の質の確保、多様な学生への対応、東洋療法を取り巻く環境の変化等を踏まえ、また、卒後教育との関係をも考慮に入れた教育目標の再検討を行う。	A	施術者として一定の質を確保することはもとより、即戦力となりうる人材育成を目指した教育目標の設定を求めます。
力 向 上	適正な教員の配置	教育目標の達成に向けて、適正な教員を適正数配置しているか	B	法令に基づいた教員資格を有する専任教員を適正に配置し、その他、各科目について教授するに相応しい講師を配置している。日々変化する教育現場に対応するために教員の適正配置を保持する必要がある。	多様化する学校業務に対応するために、法令を遵守しつつ、専任・非常勤のバランスを考慮に入れ十分な教員数を確保する必要がある。	B	多様化するニーズに応えるために教員数を確保することは難しいと思いますが、最大限の努力を期待します。
	分かりやすい授業に向けての取り組み	授業の自己点検、授業研究、互見授業などが実施されているか	A	前年度に引き続き、校長による授業参観が行われ、各教員にフィードバックが行われた。また、各授業について学生による授業評価を実施したことで授業の更なる改善につながった。	今後は校長だけでなく、他の管理職による授業参観を行い、より多角的な観点から授業評価を行う。また、授業研究や互見授業に取り組む。	A	しっかりと取り組んでいると思います。授業の充実を図るためには教員間のみならず、学生による授業評価が大変重要かと思えます。
	適切な成績評価	試験等の適切な測定により、適正な評価が行われているか	A	試験問題の作成方法に関する研修会を行い、各教員が試験問題作成および評価の妥当性・信頼性を高めるよう努力した。卒業試験等においては難易度、必要度の面から吟味した問題によって実施された。	今後は試験ブループリントの作成、作問チェックマニュアルを活用し、試験問題の妥当性・信頼性等について教務課長が確認する。実技試験においても同様に行う。	A	多方面からの検討による適正な評価実施のための努力が伺えます。

教 育 力 向 上	技能教育の充実向上	基本的技能を身につけるための実習プログラムが設定されているか	B	スモールステップによる達成感、自己効力感を感じつつ、自己トレーニングを促進するような実習プログラム構築に取り組んだ。	今後もより良い実習プログラムのための検討を重ねる。また、職業との関連を意識したプログラム構築に努める。	B	より充実したプログラムの構築を期待します。
	ファカルティ デベロップメント	校内・外の研修会、学会等に参加し、研鑽に努めているか	A	東洋療法学校協会教員研修会、全日本鍼灸学会、現代鍼灸臨床研究会、日本鍼灸手技療法教育研究会等への参加、自主開催の研修会により教員の資質向上を図ることができた。	外部の研修会・学会への参加、教育現場のニーズに基づいた校内研修会等の充実に努める。	A	日々変化する医療技術の最新情報の取得、また、その情報の関係者への周知は非常に重要ですので、充実に努めて下さい。
	学習の支援	学習支援を必要とする学生に対するサポートは十分に出来ているか	B	学習支援を要する学生に対し、放課後または、長期休暇期間を利用し、補習授業等に努めたが、結果として留年者を出すに至った。	早期に支援を要する学生の把握に努めるとともに、学生とのコミュニケーションを図りつつ学校全体で支援する。	B	学生個々の姿勢にも問題があると思いますが、適正な指導により進級率100%となることを期待します。
	資格試験合格率の向上	国家試験の合格率 100%達成に向けて十分な取り組みを実施したか	B	第21回国家試験の合格率は、あん摩マッサージ指圧師 100%、はり師 93.2%、きゅう師 95.5%であった。目標の100%達成はならなかったが、課外による試験対策、模擬試験実施など目標達成に努めた。	年度当初から学習支援に取り組み、100%合格達成を目指す。	B	合格率向上にしっかりと取り組んでいると思います。左記の合格率は非常に高い結果だと思いますが、あくまでも100%合格を目指して下さい。
	退学率の低減	中途退学防止への取り組み	C	志願者に対してはミスマッチを防ぐため、オープンキャンパス等において、本校の概要、業界や仕事の内容についての説明し、目的の明確な学生の募集に努めた。また、退学希望者には保護者とともに面談を行い、中途退学防止に努めたが退学者7名を出すに至った。 主な理由は、「学習困難」「家庭の事情」等によるものであった。	ミスマッチの防止に努める。入学後は授業を通じて、仕事のやりがいや楽しさを知ってもらい、資格取得への意欲を高めるよう努力する。学生との面談を継続して問題の把握に努める。スクールカウンセラーや保護者との連携強化。学生の状況について教員間で情報の共有に努める。	B	校友会としてもできる限りの支援をしていきたいと思っています。何よりもミスマッチの防止が重要と考えます。入学後は如何に目的意識を持たせるかが重要だと思います。目標達成に向け粘り強いサポートを期待します。
卒業教育	卒業教育の実施	卒業生のニーズ、社会のニーズに応じた卒業研修が行われているか	A	附帯教育である「臨床専攻コース」には5名が受講、研修を修了した。また、卒業5年未満の鍼灸師を対象とした「鍼灸臨床研修」を実施し卒業後のキャリアアップを支援した。	卒業研修のプログラムをより充実させる。臨床専攻コース修了者に対しては、臨床研修の内容をより充実させる。解剖見学実習および治療院見学実習の充実を図る。	A	卒業後のアフターケアのための研修コースが有ることは素晴らしいことだと思います。卒業研修の参加率を高める工夫が求められます。

学生指導	マナー、態度教育の充実	倫理やマナーについて教育するカリキュラムが設けられ、適切な指導が行われているか	B	日頃から積極的な挨拶、授業開始・終了時の礼、実習時のマナー、言葉遣い、身だしなみや態度などについて、適切に指導することができた。教室内の整理整頓について指導が必要である。	引き続きマナー、言葉遣い、身だしなみや態度 などについて指導をしていく。喫煙者に対する喫煙マナー、教室、実習室の整理整頓について指導を行う。	A	在校生のマナー、言葉遣い、態度等には好感がもてます。
	生活習慣に関する指導	日頃の生活習慣、欠席・遅刻などに対する指導が徹底されているか	B	各クラス担任より個人指導がなされており、やむを得ない理由による遅刻・欠席に対する届出の徹底、無断欠席への指導等に努めた。	適正な生活習慣を送ることができるようにするためには、家庭での指導も大切な要素となるため、保護者とも連絡をより密にし、指導するよう努める。	B	生活習慣は学園内であっても、家庭での生活習慣に左右されるので、問題がある場合は保護者との連携が重要であると思います。
	学習モチベーション向上	学生のモチベーションを高めるための具体的な取組みがなされているか	A	クラス担任による二者面談、科目担当教員とのコミュニケーションなど、学生に対する積極的な声かけに努めた。	職業体験などの機会を設けて、モチベーションの向上に努める。	A	より実践的な職業体験等によるモチベーションの向上に努めて下さい。
職業教育	職場体験等の実施	職場体験や就業体験等活動の機会を設けているか	A	夏休みを利用し、外部の治療院にて学生が施術を受ける機会を設けた。受療体験によって、学習への取り組みに変化がみられた。特に臨床実習では自己学習に取り組むなど積極性がみられるようになった。	引き続き夏休みを利用して、受療体験を実施する。また、本校附属施術所での職業体験実施を検討する。	A	大変有意義な取組みであると思います。あらゆる場での施術機会、臨床実習等により、一層の充実を期待します。本院にも熱心な学生が来院しました。
教育環境整備	施設・設備の充実	施設設備の安全管理、教育に対応した整備に努めているか	A	エアコン、照明器具の入れ替え、ロッカーの転倒防止処置等教育環境の整備に努めた。	平成25年度は新たな実習棟を整備、更なる実習施設設備の充実を図る。また、既存校舎の用途変更を行う。	A	新たな実習棟の整備、また施設の充実に期待します。
	教材・教具等の充実	学習に必要な教材・教具・図書等の整備に努めているか	B	教材教具、専門図書、学術雑誌等の充実に努めた。	実習用具、視聴覚教材、解剖模型、専門図書、学術雑誌等必要に応じて重資を図る。	A	自己学習の質の向上には専門図書、用具の充実は不可欠であると思います。適確なニーズの把握に努めて下さい。
学生支援	進路相談・指導の充実	進路相談・指導の機会を十分に設け、学生および求人先のニーズに答えているか	B	履歴書の書き方、電話対応等のレクチャーを行った。就職ガイダンスを開催し、45社の参加があった。但し、開催時期については様々な意見があるため検討が必要である。また、会場の都合で希望事業所全てを受け入れることができなかったため、何らかの対応を考えなければならない。個別に相談がある学生については担任、事務課長と連絡を取り合い対応している。	履歴書の書き方、マナーに関するレクチャーを実施する。就職ガイダンスも同様に実施するが、昨年の反省を踏まえて、参加事業所の選択等を学生の目線で考えていく。個別相談のしやすい環境整備に努める。	B	開催時期、会場の選定等、改善策の対応に努めて下さい。

学 生 支 援	学校行事・課外活動	学園生活を有意義なものにするための学校行事や課外活動が適切に実施されているか	B	校外実習、球技大会、ゼミ等の実施により、学生間や学生教員間のコミュニケーションが図られた。また、学園祭では学生によるボランティア施術が行われ、日頃の練習成果を発揮することができ、奉仕の精神の発揚、市民との交流を図ることができた。	学生にとってより有意義な学園生活を送ることができるよう、前年度の反省を行い、より良い学校行事とするよう努力する。	A	学生間の交流の場として、また、学園生活を有意義なものとするため、課外活動のより一層の充実を期待します。
	健康管理の実施	定期健診や疾病予防教育、健康相談など、学生の健康管理に努めているか	A	学校保健安全法に基づき、健康診断を実施した。食中毒やインフルエンザ等感染症予防の衛生教育、カウンセリング等に努めた。喫煙の健康被害についてグループワーク等を行ったが、喫煙率等の改善はみられなかった。	引き続き健康管理に努めるとともに、適度な運動等、健康増進やストレス対策に努める。禁煙に関する衛生教育に努める。	A	医療の専門学校として、学生や教職員の健康管理・増進に努めて下さい。
	生活支援相談の充実	奨学金や教育ローン、その他生活に関する相談に対応しているか	B	奨学金については、年度初めの日本学生支援機構奨学金を主に、教育ローンについては随時、相談者があった場合に対応した。また、日本学生支援機構の奨学金については、希望者全員に貸与することができた。本校校友会奨学金については2名が給付を受けた。	奨学金、国の教育ローンだけでなく、銀行等の教育クレジットローンについても紹介できるよう努める。校友会奨学金の充実を図る。	B	教育ローンのみならず、日常生活に関しても支援体制の強化を期待します。校友会では奨学金の給付枠を増やします。
地 域 貢 献	施術所経営	地域住民の保健衛生の向上に貢献しているか	A	施術所運営を通じて、市民衛生の向上に寄与することができた。	引き続き患者満足度の向上に努め、施術所経営の充実を図る。	A	地域住民の健康の保持増進への貢献を期待します。
	地域スポーツへの貢献	地域のスポーツ振興に貢献しているか	A	アスレティックトレーナーとしての活動により、地域スポーツを支援することができた。本校教員、学生が市民代表として「市町村駅伝大会」に参加した。	本校の専門性を活かし、地域スポーツの振興に寄与するとともに、教育に反映させる。	A	熱海市体育協会としても貴校のサポートは心強く思います。スポーツ鍼灸静岡がサポートする日本平桜マラソンにもご協力を頂きました
	介護予防に関する取り組み	高齢者の介護予防に貢献しているか	A	地域の特定高齢者に対する介護予防を目的に、本校教員、卒業生が「筋力アップ教室」を担当し貢献した。	引き続き地域の特定高齢者に対する介護予防の筋力アップ教室を担当するとともに、地域の第1次予防事業のセルフマッサージ教室を担当する。	A	高齢化率の高い熱海市にとって、介護予防は重要な課題ですので、さらなる貢献を期待します。
	校務分掌	校務分掌が明確にされ、教職員がよく理解しているか	B	校務分掌が示され、各教職員が個々の役割を果たすことができたが、より詳細な校務分掌を作成し明確かを図る必要がある。	教職員の業務内容を明確にし、校務分掌の明確化を図る。	B	校務分掌の一層の明確化と教職員間の理解の充実を図って下さい。

学 校 管 理 運 営	諸会議の実施	会議が円滑に運営され、コミュニケーションが十分図られているか	B	定例の教育会議、実習指導者会議、学校運営会議等を開催し、課題の共通認識や解決に向けた協議を行うことができたが、一部、時間や議題、会議方法について検討する必要がある。	会議を円滑に有意義にするために時間、議題、会議方法について見直し、より効率的な会議にするよう努める。異なる部署の職員同士のコミュニケーション向上に努める。	B	会議については、回数もさることながら、内容の充実に努力して下さい。
	広報活動	費用対効果に見合った適切な広報活動行われ、学園の情報が十分発信されているか	C	18歳人口の微減が続く中、高校生向け、社会人向けと媒体を分けて広報活動を行った。また、高校生向けでは直接説明が行えるガイダンスに主を置き、HPでは、ブログ等で学内外活動や卒業生の訪問など「歴史ある学校」という部分を前面に出した。また、facebook ページも開設した。ただ、ガイダンスや業者のHPや雑誌媒体により、分野や学校の内容がどの程度まで伝わっているかが疑問である。	静岡県内の高校3年生が前年より減少する。そのため例年以上に、社会人への広報活動を積極的に行う必要がある。また、静岡県だけでなく、神奈川西部への広報活動を充実させていく。県内外を問わず、本校について知ってもらう機会を増やすよう努力する。	B	情報媒体が多様化する中で、あれもこれもと手を出すのではなく、効率的な方法の見極めが必要だと思います。また、足元を固める意味でも地域住民への広報活動にも力を入れるべきであると思います。卒業生の活躍ぶりについて、広く発信して下さい。
	学校評価	自己点検評価が適切に行われ、その結果が公表されているか	A	学校の重点目標を達成するために必要な行動目標を掲げ、その達成度や成果、今後の課題について自己点検評価を行うことができた。その結果については、本校HPに掲載した。	引き続き重点目標およびその達成に向けた具体的行動計画の策定、その遂行に努める。学校関係者評価委員会を設置し、学校関係者評価を実施する。	A	現状に甘んじることなく取り組む姿勢が素晴らしいと思います。評価結果を尊重し、明日の改善に繋げて下さい。
	危機管理体制	危機管理体制が明確にされ、マニュアル、緊急用備品などが整備されているか	C	危機管理マニュアルの見直し、危機管理体制の確認はできたが、マニュアルの周知徹底が不十分であった。緊急用備品としては、保存水、非常食は人数分常備しているが、毛布等防寒用具の整備が必要である。	危機管理マニュアル、危機管理体制の周知徹底をし、緊急用備品の追加・補充に努める。	B	不足部分を早急に補うとともに、管理マニュアルの周知徹底を図って下さい。
	防災対策	定期的に避難訓練等が実施されているか	B	学生、教職員全体で避難訓練を実施した。避難経路で改善を要する箇所があった。	避難経路等の改善を図った上で、避難訓練を実施する。	B	避難経路の改善には早急に取り組んで下さい。
	労務管理	労働関係法令に基づき、就業規則等が適宜見直され整備されており、職員の健康管理が適切に行われているか	B	平成24年度に成立した改正高年齢者雇用安定法に基づき就業規則の見直しを行った。(平成25年度より施行)	法令改正、学園の状況を把握しながら、就業規則等諸規則の見直しに努める。	B	高齢者雇用に限らず、広範囲な労働環境の改善に努めて下さい。

学校 管理 運営	予算編成および執行	予算の編成および予算の執行が適正に行われているか	B	例年の執行状況を基に予算編成をしたため、科目によって若干の超過はあったが、大きな超過はなかった。	新実習棟の建設、施設設備の充実等を考慮した予算編成に努める。	B	適正な予算計画の作成、執行に努めて下さい。
	財務状況の分析	財務諸表に基づき分析が行われ、健全な財政状況を保持しているか	B	貸借対照表関係、消費収支計算書関係より財務比率を算出し、毎年の財務状況を予算編成等にも反映させている。但し、財務諸表を基に具体的な改善策をもっと議論する必要はある。	過去の財務諸表を基に、財務状況の変動や今後の予測のための資料作成に努める。	B	財務諸表を的確に管理し、経営管理の資料として最大限活用して下さい。
	情報公開	財務状況に関する資料を公表しているか	B	ホームページ上にて公開を行ったが、それ以外の媒体での公開はしなかった	ホームページのみならず、他の媒体(校友会報等)への公開も検討する。	B	早期の一般公開を検討して下さい。

平成25年5月17日

東海医療学園専門学校 学校評価委員会（自己点検評価）

学校関係者評価委員会（学校関係者評価）

委員長 羽鳥 龍行（東海医療学園校友会会長）

委員 鵜澤 精一（NPO 法人熱海市体育協会理事長）

〃 木内 実（社団法人静岡県鍼灸師会会長）

〃 鈴木 和彦（公益社団法人静岡県鍼灸マッサージ師会会長）

〃 鈴木 秀旺（熱海市連合町内会長）

〃 矢田 真樹（静岡県鍼灸学術研究会会長）